

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 10 2003年7月24日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子

(21)4919



大曾根勝正

(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

議会報告会を開催しました

7月11日(金)久慈町新宿会館におきまして、二回目の議会報告会を開きました。大曾根勝正議員、小林真美子議員は6月定例議会での一般質問等について報告しました。また参加者の質問・意見を聞きました。その一部をご紹介します。

- ・市役所、支所の窓口に、お年寄りや初めての人のために、案内したり教えてくれたりする専門の親切な担当者がいると助かります。
- ・医療費が高くてたいへんです。新しい保険証は、小さいので紛失しやすく今までの方がよかったです。
- ・ゴミ減量化については、小・中学校でもっと教育すべきです。地球環境を守るということを学ばなければいけないと思います。ゴミ袋が有料になりましたが、安い値段で丈夫なものを提供して欲しいです。ゴミ袋の料金は他市と比較してどうなのでしょう。

燃えるゴミ有料袋料金の他市との比較

	日立市・高萩市・十王町	常陸太田市	ひたちなか市	北茨城市
20 ^{リットル}	13円	15円	15円	15円
30 ^{リットル}	20円	なし	なし	20円
40 ^{リットル}	なし	30円	なし	なし
45 ^{リットル}	30円	なし	20円	30円

*平成十四年度、ごみ処理袋、処理券は438店舗で販売され、納付額は三億六百八十三万五千六百十円です。内訳は、45^{リットル}ゴミ袋が約六百七十六万円、30^{リットル}が約二百五十九万円、20^{リットル}が百六十一万円で、粗大ゴミ処理券は一万七千二百五十三円となりました。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。
ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

7月17, 18日と産業福祉委員会の行政視察がありました。視察先は北九州市（平尾台自然の郷）と福岡市（博多町家ふるさと館）です。平尾台自然の郷は標高約600メートルのカルスト（石灰岩）大地の雄大な自然公園です。そこに木、花、食、陶の工房や高原音楽堂、展望台が整備されています。今年4月20日オープンしたばかりです。集客は30万人/年間を見込んでいるそうです。入場無料も魅力のひとつで、土、日は五千人以上の人でにぎわっているそうです。

博多町家ふるさと館は、取り壊し寸前の明治・大正期の博多の町家を、市民の声をきっかけに移築復元したもので、博多の暮らし、祭り、文化の歴史を紹介した建物です。勇壮な祭りで有名な博多祇園山笠の映像もみられます。平成7年から入館者数は約5万人から7万3千人に、年をおって増えています。

日立市さららの里が年をおって入場者が減っている事の対策を考えての、今回の視察でした。

日立市・十王町合併の協議は今（2）

合併協議会では、現在「対等」にするのか「編入」にするのかなどの合併形式等を協議していますが、合併の必要性、メリットをどのように見るのでしょうか。3月に県北臨海地域広域行政研究会（日立市、北茨城市、高萩市、十王町）は以下のように報告しています。今後、具体的な内容が協議されます。

合併効果（メリット）

1、行財政の合理化・効率化

合併によって、各市町村で重複する事務及び投資がなくなり、行財政面の合理化・効率化を図ることができる。

2、行政サービスの向上

町や村では直接できなかった住民向けサービスが、合併によって実現できるなど高度化・多様化が図れる。

3、地域のイメージアップ

合併によって、地域のイメージアップが図れる。

4、公共施設整備・利便性の向上

合併を期に地域の公共施設の整備・改善が図れる。また、公共施設を利用する上で、合併によって住民の選択肢が増えるなど利便性の向上が図れる。

5、広域的なまちづくりの実現

単独の市町村では効率的・効果的に実施できなかった施策が、合併によって広域的な視点でより整合性のある形で実現できる。

* 報告ではメリット、デメリットは表裏の関係のものがあるとしています。次回はデメリットと落とし穴についてお知らせします。